

生体腎移植を見学させていただいて・・・

医学部生命科学科1年 知識 嘉奈子

杉谷先生には、今回、生体腎移植の手術見学をさせていただいて大変感謝しています。

まず、手術を見学させていただくにあたり、生体腎移植についてのレクチャーを受けることで、移植に至るまでに、想像していたよりも多くの項目をクリアしなければいけないことを知ってとても驚きました。医学的に適しているかの検査は当然あると思っていましたが、本当に本人であるのか、ドナーとレシピエントの関係が本当に夫婦であるのかを確認することもしなければならぬことや、移植をすることで、金銭などの見返りを引き合いに出していないか、なども精神科の先生に診ていただく過程を通して行われており、万が一のためにそこまで考えていなければならないのだと知って、本当にたくさんの可能性を考え慎重に進めていかなければならないのだと思いました。

実際に手術を見せていただいて、腎臓の周りの脂肪を丁寧に慎重にはがしていくことには、とても集中力や忍耐力や根気が必要であるということがわかりました。また動脈や静脈、輸尿管がどれであるかを画面で慎重に見極めていくこともとても難しそうでしたし、血管を閉じるときに、画面の平面でしか見ることができないのに細かい作業ができて本当にすごいなと思いました。腎臓を実際に取り出して、初めて見る事が出来て、教科書とは違った新鮮味を感じました。腎臓の形や大きさ、色などが良くわかりましたし、かん流をして腎臓が白くなっていく様子もよくわかりました。また血管を縫いつけていっしょるのを見て、本当に細かい作業で最大限に集中しなければならないんだと思いました。また訓練も非常に大切なのだと実感しました。そして何より、手術は決して一人では出来ないと思いました。周りのスタッフと連携して協力していかなければ絶対に成功しないのだと思いました。また、体力も非常に大切だと思いました。

今回手術を見学させていただくという貴重な経験をさせていただいて本当にありがとうございました。初めて実際に手術室に入って見学させていただいて、今まで想像することしか出来なかったのですが、これからは少しは実感がわくことが出来ると思います。またこれから医学の勉強が本格的に始まっていきますが、その勉強がますます楽しみになりました。勉強が進んでいく中で、今よりも臓器移植をもっと深く理解できるように頑張りたいと思います。また、学生のうちに部活動を通してしっかりと体力をつけていきたいと思いました。今回の経験を今後につなげていけるようにしっかりと頑張っていこうと思います。